# 流通科学部 Faculty of Business, Marketing and Distribution (25B・24B・23B・22B)

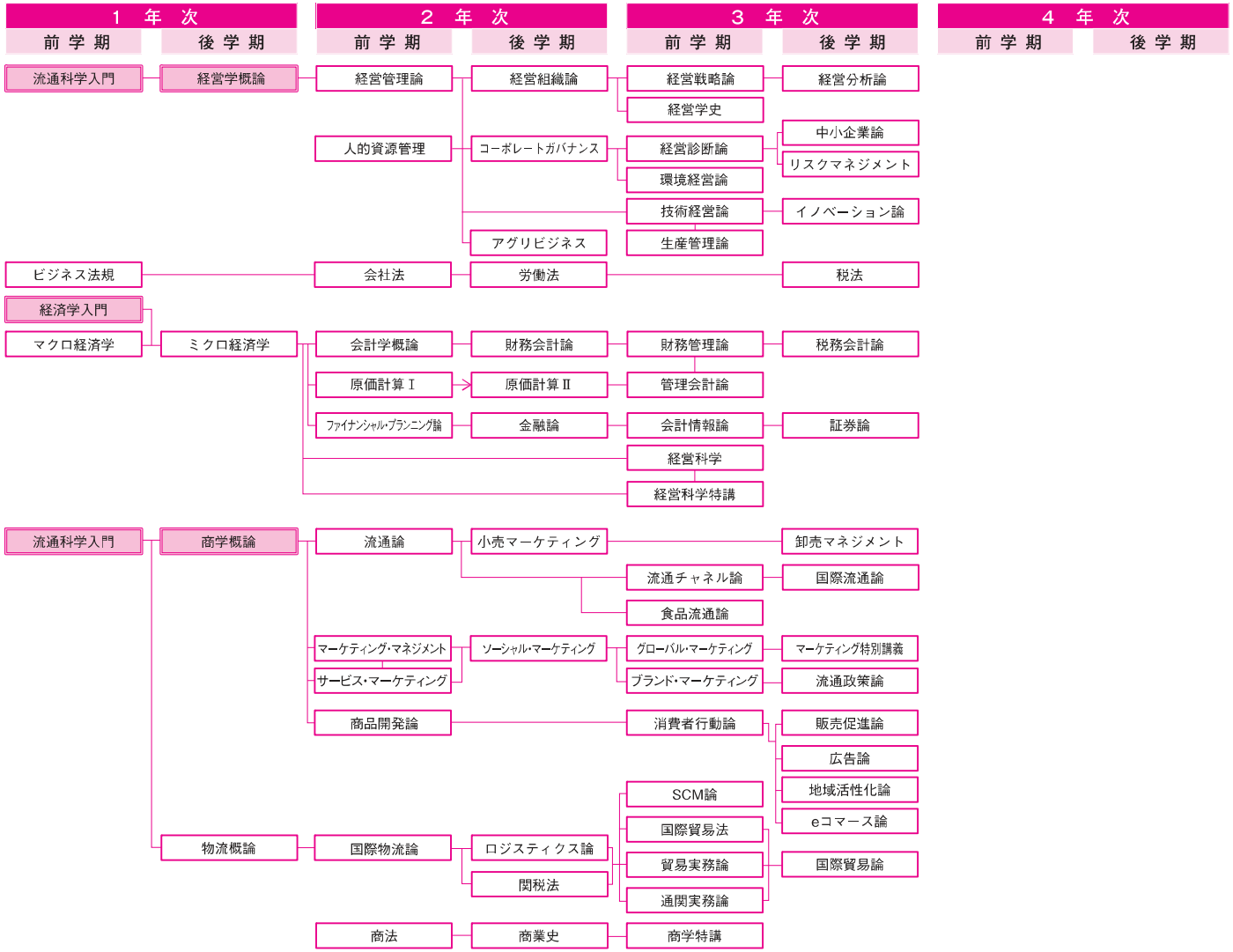
○○○○ 必修科目
○○○○ 選択科目

## ■2019年度以降入学生カリキュラムの教育内容

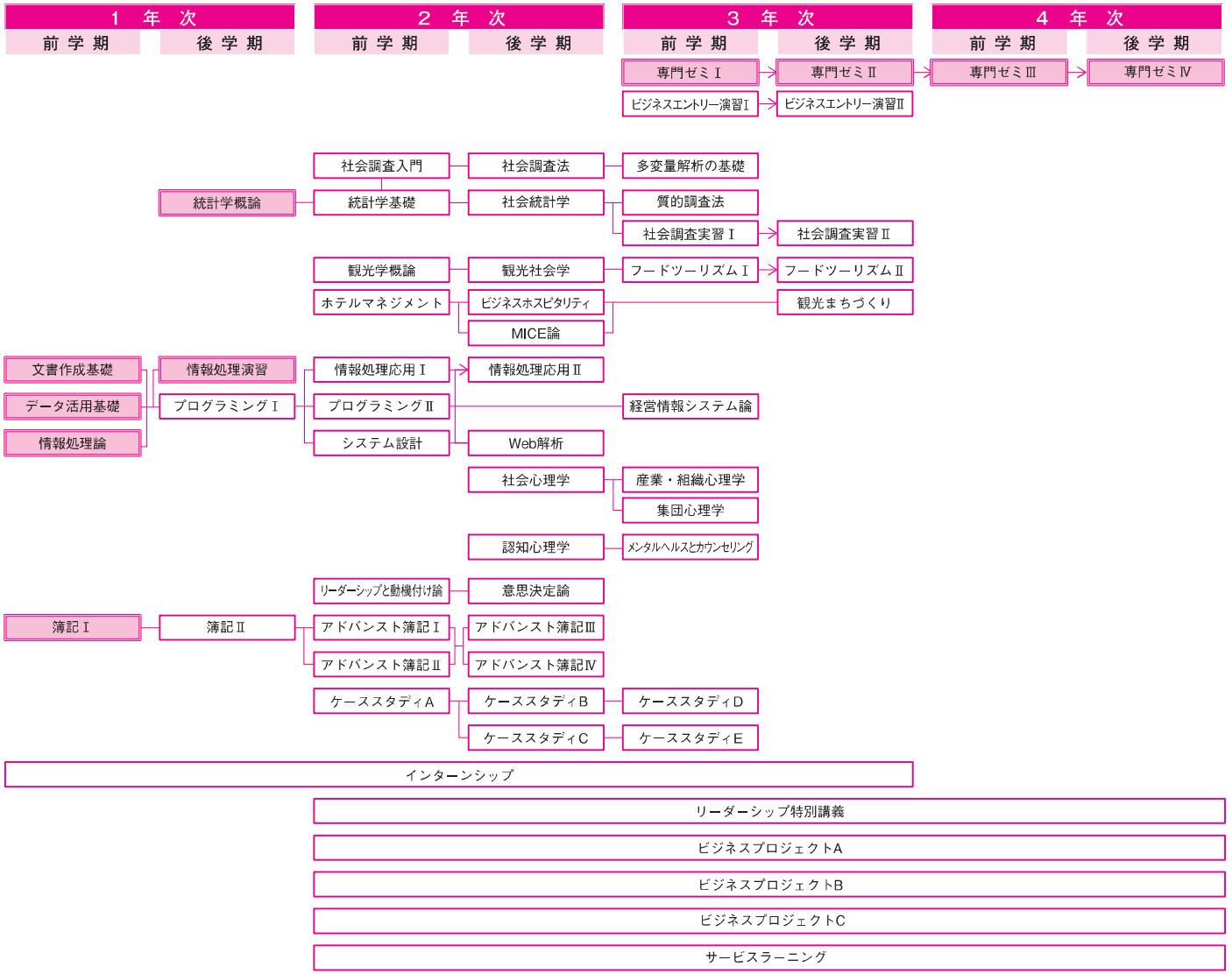
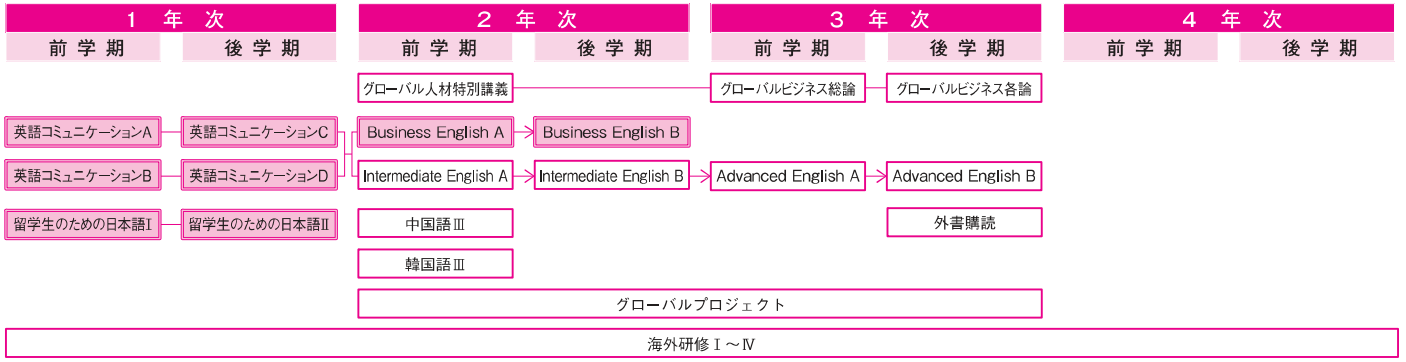
・「建学の精神」の一つである"人間教育の根幹"に立ち返りながら、日本人としての人格形成を目指すとともに、市民としての自覚を持ち、現代に生きるグローバルな視点を養うといった、人間性豊かで広い視野をもった社会人になる素養を養う。
・流通科学部は、経営（経営管理、財務会計など）分野及び商学（流通マーケティング、ロジスティクスなど）分野を中核として、新たに４つの専門領域（社会調査・統計、観光・サービス、IT&ビジネス、ビジネス心理）と2つの人材育成プログラム（ビジネスリーダー、グローバル人材）を加えた教育を、理論と実践を通じて行います。

| 科目領域の教育目標 | 該当DP | 1年次 前学期 | 1年次 後学期 | 2年次 前学期 | 2年次 後学期 | 3年次 前学期 | 3年次 後学期 | 4年次 前学期 | 4年次 後学期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ■共通基礎科目　AcademicLiteracy<br>大学での学びを通じて自己を成長させるために大学での学び方を理解し、社会人としての素養を修得する。 | DP1 | スタディスキルⅠ | スタディスキルⅡ | スタディスキルⅢ | スタディスキルⅣ | | | | |
| ■共通基礎科目　BusinessLiteracy<br>経営学や商学に関する基礎的な知識を修得し、基幹科目や発展科目での効果的な学びに結び付けることができる。 | DP1 | 情報処理論<br>文書作成基礎<br>データ活用基礎<br>流通科学入門<br>簿記Ⅰ<br>経済学入門<br>マクロ経済学<br>現代ビジネスと社会学<br>ビジネス法規 | 情報処理演習<br>経営学概論<br>商学概論<br>統計学概論<br>物流概論<br>簿記Ⅱ<br>ミクロ経済学<br>経済地理学 | | | | | | |
| | | 資格取得による認定 Ⅰ～Ⅲ | | | | | | | |
| ■共通基礎科目　CommunicationLiteracy<br>コミュニケーションに関する基礎的な知識を学び、良好な人間関係の形成、論理的で説得力のあるレポートの作成やプレゼンテーションスキルの向上に結び付けることができる。 | DP1 | | コミュニケーション論 | レポートライティング | スピーチプレゼンテーション | | | | |
| ■共通基礎科目　LanguageLiteracy<br>グローバル化の加速する社会で大学生として最低限求められる英会話能力を修得する。また、英語でのビジネスに必要な基礎的な知識を獲得し、自らの考えを英語で伝え適切に相手と意思疎通することができる。 | DP1 | 英語コミュニケーションA<br>英語コミュニケーションB<br>留学生のための日本語Ⅰ | 英語コミュニケーションC<br>英語コミュニケーションD<br>留学生のための日本語Ⅱ | Business English A | Business English B | | | | |
| | | | ※いずれも、留学生のみ履修可 | | ※Business English A・Bは留学生以外必修 | | | | |
| ■教養科目<br>人間性豊かな社会人として成長していくための基礎となる知識や社会性を獲得する。 | DP1 | 日本事情<br>生涯スポーツ論<br>生涯スポーツ実習A | 生涯スポーツ実習B | | | | | | |
| | | ※留学生のみ履修可 | | | | | | | |

| 科目領域の教育目標 | 該当DP |
|---|---|
| ■基幹科目　経営コース科目<br>組織をマネジメントする上で生じる人的・物的・財務的な課題を理解するとともに、その課題解決に必要な専門知識を体系的に修得して実社会で応用することができる。 | DP2,3 |
| ■基幹科目　商学コース科目<br>実社会の企業が対処すべき「市場」の問題構成を理解し、その問題を解決するだけでなく解決策を維持する仕組みを、流通システム、マーケティング戦略、物流システム、国際貿易によって構築できる。 | DP2,3 |



| 科目領域の教育目標 | 該当DP |
|---|---|
| ■専門演習科目<br>専門ゼミでの演習を通じて、経営分野および商学分野に関する特定のテーマについて研究を行い、指導教員のもとで当該分野に関する専門的な知識を修得し、研究成果を卒業論文として執筆・完成させる。 | DP3,4 |
| ■発展科目　社会調査・統計領域<br>経営学や商学で取り上げられるデータを理解し、分析するために必要な手法を学ぶことによってデータから科学的に情報を得ることができる。また、所定の科目の単位を修得することで社会調査士の資格を取得する。 | DP1,2,3,4 |
| ■発展科目　観光・サービスビジネス領域<br>観光やサービスを構成する様々な価値（運輸・宿泊・飲食・もてなし・案内など）を理解し、外部ニーズと内部シーズをつなぐプロデュース、コーディネート、ビジネスモデルの構築などを習得する。 | DP1,2 |
| ■発展科目　IT＆ビジネス領域<br>論理的な思考や問題解決能力が、プログラミング能力の取得を通して実践できる。また、より実際に即した情報分析やシステム構築を通じて、社会やビジネス領域への実践的な応用ができる。 | DP1 |
| ■発展科目　ビジネス心理領域<br>人の行動や心の動きに関する基礎的知識と人や組織、社会への関わり方や援助の方法に関する知識を修得して経営学や商学の分野で応用することができる。 | DP1 |
| ■人材育成プログラム科目<br>ビジネスリーダー<br>ビジネス組織の一員として、組織の課題を発見し、課題解決に向けた具体策を立案して解決できる実践的な知識と行動力を養うことができる。 | DP1,2,3,4 |



| 科目領域の教育目標 | 該当DP |
| --- | --- |
| ■人材育成プログラム<br>科目グローバル人材<br>多様な価値観や異文化を理解し、国際性豊かな幅広い知識と行動力を養うことができる。 | DP1,3,4 |